

地域おこし協力隊通信

— 第15回 —

「 よろしくお願ひします！
協力隊の菅野裕子です。」

地域おこし協力隊 菅野裕子



白鷹町の皆さんはじめまして。4月より白鷹町の地域おこし協力隊として活動させていただいている菅野裕子です。宮城県塩竈市出身で、好きなことは食べることに歩くこと、それからコーヒーを淹(い)れることです。



こだわりの豆で淹れた
コーヒーです

これからどうぞよろしくお願ひいたします。

これからの白鷹町は、以前から友人と何度かドライブで訪れたことがあり、自然あふれるところに魅力を感じ、このたび地域おこし協力隊に応募しました。

白鷹町で暮らし始めて1カ月が過ぎましたが、私自身にはステキだなと思えることが、町の人たちにとってはごく当たり前のことであつたりと、日々驚きの毎日を送っています。そんな「驚き」を、今度は私がつたくさんの人に発信していければと思います。

現在は主にのどか村で活動しており、近いうちにのどか村でコーヒーを出したいと考えています。皆さんどうかコーヒーを飲み到的か村に遊びに来てくださいね。

白鷹町には、以前から友人と何度かドライブで訪れたことがあり、自然あふれるところに魅力を感じ、このたび地域おこし協力隊に応募しました。

白鷹町で暮らし始めて1カ月が過ぎましたが、私自身にはステキだなと思えることが、町の人たちにとってはごく当たり前のことであつたりと、日々驚きの毎日を送っています。そんな「驚き」を、今度は私がつたくさんの人に発信していければと思います。

現在は主にのどか村で活動しており、近いうちにのどか村でコーヒーを出したいと考えています。皆さんどうかコーヒーを飲み到的か村に遊びに来てくださいね。

町報川柳 一本

何冊の本にも優る祖母の知恵
お家芸オール一本意地を見せ
娘から孫継いだ絵本なつかしむ
妙薬で本音を探るこの一杯
冬期間図書館読書春を待つ
本心をぶつつけ和解の絆生む
本能のままに生きてら留置場
手先にはスマホ、パソコン本は棚
朋友と本音を語って明日の糧
うそですな本音はぐつと胸の中
本棚の本も積読くだけになり
本当に春一番が春を呼ぶ
本開きこたつに入り目が閉まる
稲杭の本数係が指を折る
目もボヤケ好きな読書も読めやせぬ
乙女心を焦がした本老婆ベットの
本音にはやさしい衣装着せて会い
勇気出し本音トークで明るい方へ
本を読み心の泉豊なる
時の人捨てるか迷う著者の本
宝物本物かにせかわからない
本調子なかなか出ずに四苦八苦
本心を悟らぬまゝの良い余生
本根どこ読めぬままですトランプよ
本日は青天なりと鉢良い
ガンコ親父情も意地も有り本当に強い力もち
たやすくは本音吐けない仮面裏
本日も夫婦の会話述語だけ
日本海演歌の似合う四季がある
本を読み晴耕雨読の生活
本音はく苦楽のあとの幸せを
春が来て桜の花も本咲きに
都合にて建前本音使い分け
本を詠むよんでもわからぬ年になり
日の丸は日本の印です
たわいない話に本音見え隠れ

長井市 安部ありな
高岡 安部 健一
武蔵野市 池田 武子
山口 石川與次衛門
荒砥甲 五十公野かをる
荒砥乙 五ヶ公野春己
鮎貝 植木 英夫
浅立 梅津 太一
浅立 梅津美千子
滝野 海老名きち
世田谷 遠藤 八重
横須賀 大滝健次郎
荒砥乙 木口 とよ
菖蒲 小関 弘
山口 児玉 保子
萩野 紺野 五月
鮎貝 佐藤 幸子
鮎貝 神保 玲子
箕和田 鈴木 トミ
荒砥甲 鈴木美貴子
十王 平 恒人
高玉 高橋 朝子
荒砥乙 土谷 灯一
箕和田 土屋 平敏
箕和田 土屋 敏子
広野 新野智耶子
高玉 橋本つね子
鮎貝 樋口 敬子
荒砥乙 保科 努
十王 松田 久一
十王 松野いせ子
ふじみ野 村上 桂造
十王 守谷 勝助
十王 守谷 三郎
鮎貝 横沢 直太
山口 渡部喜美子

次回「今」五月二十五日まで。 「木」六月二十五日まで。
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛